

## 安全指針

国際化学オリンピック参加生徒は、化学実験室での作業について十分に準備し、すべての規則に留意し、安全な操作を行うことができるようにしなければならない。大会本部は生徒に対し、オリンピック期間中 IChO 規則の付録 A に記された安全規則を厳密に守るよう強く求める。

指導員のいる設備の整った化学実験室でのみ準備問題に取り組むことができる。各国において安全規則は異なっており、詳細な安全規則や注意事項までは記載していないが、メンターが十分に注意して問題に順応しなければならない。

実験で使用する化学物質に関する GHS 危険有害性情報コード (H 則) が、各問題で記されている。コードの意味は以下のとおりである。

### 物理的危険性

- H225 引火性の高い液体および蒸気
- H226 引火性の液体および蒸気
- H227 引火性液体
- H228 可燃性固体
- H271 火災または爆発のおそれ；強酸化性物質
- H272 火災助長のおそれ；酸化性物質
- H290 金属腐食のおそれ

### 健康有害性

- H301 飲み込むと有毒
- H302 飲み込むと有害
- H303 飲み込むと有害のおそれ
- H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- H305 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
- H311 皮膚に接触すると有毒
- H312 皮膚に接触すると有害
- H313 皮膚に接触すると有害のおそれ
- H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- H315 皮膚刺激
- H316 軽度の皮膚刺激
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H318 重篤な眼の損傷
- H319 眼への強い刺激
- H320 眼への刺激
- H331 吸入すると有毒
- H332 吸入すると有害
- H333 吸入すると有害のおそれ
- H334 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
- H335 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 眠気やめまいのおそれ
- H351 発がんのおそれの疑い

- H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- H361d 胎児への悪影響のおそれの疑い
- H361f 生殖能まへの悪影響のおそれの疑い
- H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- H370 臓器の障害
- H371 臓器の障害のおそれ
- H372 長期にわたる、または繰り返し受けた暴露により臓器の障害
- H373 長期にわたる、または繰り返し受けた暴露により臓器の障害のおそれ

#### 環境有害性

- H400 水生生物に強い毒性
- H401 水生生物に毒性
- H402 水生生物に有害
- H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
- H411 長期的影響により水生生物に毒性
- H412 長期的影響により水生生物に有害
- H413 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

なお、GHS 危険有害性情報コード H300, H310, H330, H340, H350 および H360 に関わる化学物質は、その有害性により国際化学オリンピック大会での使用は許されていない。